

8. 講演会

期 間 : 平成27年3月6日(金) 10時30分～16時30分
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 独立行政法人 建築研究所
 聴講者数 : 502名

プログラム

- 理事長挨拶
 - 建築物の超節水化技術の開発と途上国展開
 - CLTによる木造建築物の設計法の開発(その1)
 - CLTによる木造建築物の設計法の開発(その2)
 - CLTによる木造建築物の設計法の開発(その3)
 - 歴史的建造物の保存再生に求められる技術
 - 長周期・多数回繰り返し地震動の地域特性
 - 特定天井基準の技術的背景と設計上の要点
 - 特別講演『建築におけるサイバニクスの可能性
 ～革新的人支援技術がつくる近未来社会～』
- 10:35～ 建築研究所 理事長 坂本 雄三
 10:40～ 環境研究グループ 長 山海 敏弘
 11:10～ 建築生産研究グループ 上席研究員 中島 史郎
 11:30～ 構造研究グループ 主任研究員 荒木 康弘
 11:50～ 防火研究グループ 上席研究員 成瀬 友宏
- 12:10～ 表彰式 建築研究所すまいづくり表彰「地域住宅賞」
 12:30～ パネル展示の紹介
 12:45～ 昼休み パネル展示
- 13:45～ 建築生産研究グループ 長 長谷川直司
 14:15～ 構造研究グループ 上席研究員 小山 信
 14:45～ 建築生産研究グループ 主任研究員 石原 直
- 15:15～ 休憩
- 15:30～ 筑波大学大学院 教授 山海 嘉之
- 16:30 閉会

パネル展示 コアタイム (12:45～13:45)

- | | |
|---|--|
| <p>長周期地震動に対するCFT造超高層建築物の耐震安全性に関する研究</p> <p>RC造構造部材の実験データベースの構築とその利用</p> <p>昼光利用による照明エネルギー削減効果に関する実態比較調査</p> <p>通風計画の合理化に向けた評価手法の検討</p> <p>耐火試験結果を用いたバリエーションの認定に関する研究</p> <p>鉄筋コンクリート造建築物のかぶり厚さに関する検討</p> <p>建築防水・仕上材の中性化・塩害抑制効果</p> <p>我が国の住宅生産技術の東南アジア等普及のための情報基盤整備に関する研究</p> <p>アジア蒸暑地域における省エネ型住宅設計技術</p> <p>建物緑化における生物多様性向上方策</p> <p>中南米「建物耐震技術の向上・普及」研修コースについて</p> <p>RC造非耐力壁の地震後の損傷に関する実大試験体実験</p> | <p>構造研究グループ 主任研究員 長谷川隆</p> <p>構造研究グループ 主任研究員 向井智久</p> <p>環境研究グループ 主任研究員 三木保弘</p> <p>環境研究グループ 主任研究員 西澤繁毅</p> <p>防火研究グループ 研究員 水上点晴</p> <p>材料研究グループ 研究員 土屋直子</p> <p>建築生産研究グループ 主任研究員 宮内博之</p> <p>建築生産研究グループ 主任研究員 小野久美子</p> <p>住宅・都市研究グループ 主席研究員 岩田 司</p> <p>住宅・都市研究グループ 上席研究員 加藤真司</p> <p>国際地震工学センター 上席研究員 犬飼瑞郎</p> <p>国際地震工学センター 主任研究員 谷 昌典</p> |
|---|--|